

令和元年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園
高田幼稚園

当園ではこの度、令和元年度の幼稚園評価として教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、現状を見つめ直す良い機会となりました。また、それぞれの評価結果について皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受け止め、更なる「教育活動の充実・教育環境の整備・教職員の資質向上」に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は、真宗高田派の仏教園として親鸞聖人の教えを受け継ぎ、命の尊さに気づき、思いやりと感謝の気持ちを持てる子として成長できるよう、「はっきりと挨拶ができる子・自分の気持ちを相手に伝えられる子・ゆたかな情操をもった子・だれとでも仲良く遊べる子・感謝の気持ちを忘れない子・たくましい体力をもった子」を教育目標として掲げ、日々の保育に取り組んでいます。

II. 今年度の重点目標

ア 教職員の資質向上 イ 園の保育面・運営面の向上 ウ 安全管理体制の強化
エ 保育環境について オ 職場環境について

III. 評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み状況
ア	1 幼稚園教育要領、また自園の保育目標の理解と実践に努め、園児の手本となれるよう、各自が保育者としての資質向上に努めているか。	自園の保育目標はほぼ理解し、それに沿った保育を行い、園生活においてもあいさつや気持ちの伝え方など園児の手本となれるよう自らの資質向上に努めている。幼稚園教育要領については表面的な理解に終わっているため、今後は自園の保育目標と照らし合わせ、細部にわたって理解し実践につながるよう取り組んでいきたい。
	2 教職員間では保育についての問題等を共有し、意見交換をすることにより、また保護者とは積極的にコミュニケーションを取ることで、園児一人ひとりのより良い成長に繋げているか。	日頃から教職員間の意見交換や問題共有ができていて、良い関係が築けている。また保護者ともうまくコミュニケーションが取れ、親密な関係を築けているので、園児一人ひとりの良い成長に繋がっている。今後も継続して保護者との関係を深めていきたい。全体的にほぼ達成できていると思われる。
イ	1 各自が園における自分の役割を理解し、それぞれの立場で行事内容・日程に対し意見を出すなど、積極的に園の保育・運営両面の向上を図り、子どもたちの園生活がより充実するよう努めているか。	保育目標に合った行事であるかを常に考え、終わるたびに意見を出し合い、反省・見直しを行っている。またそれぞれのニーズや時代に合わせながら柔軟な保育を心がけ、園生活がより充実するよう努めている。しかし反省点を活かしたり各自が自分の役割を理解することができず、運営面の向上を図れていないところがある。今後はそれぞれの役割を再確認し、主体的に運営に関わっていきたい。

令和元年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園
高田幼稚園

自己評価項目		取組み状況
ウ	1 地域行事・施設慰問・防災訓練・清掃奉仕などに園全体で参加し、万一の災害発生時には地域の協力を得られるよう努めているか。	地域行事や施設慰問には参加しているが、防災訓練や清掃奉仕は園全体として取り組めていない。園外では出会う人と挨拶や会話を通してコミュニケーションを図っているものの、災害時に協力してもらえる関係を築けているか疑問である。またハザードマップや災害時の避難経路などを確認し、共通理解しておくことが必要である。
	2 園児の嘔吐・下痢などについて、感染症対策の観点から適正な対応・処理ができるよう、研修会への参加や園内研修の開催など、正しい知識を得るための取り組みを行っているか。	園内外の研修への参加で、適正な対応と処理、意識向上を図ることができているが、実際の時に落ち着いて迅速な対応を取れないことが考えられるので、今後も定期的な確認が必要である。また保護者へは嘔吐処理についての説明会を開催し、園の方針を周知することができた。
エ	1 保護者に仏教保育の意義や園の保育目標を分かりやすく伝え、園の方針に理解・共感を得られるような園づくりや広報に努めているか。	保護者には子どもの姿を通して、また園だよりやホームページ、行事への参加によって園の方針や仏教保育の意義を伝えることができています。職員が仏教保育の意義を理解できていないところがあるので、今後研鑽の場を持ちたい。また、お便りなどの内容を充実させ伝えていきたい。
オ	1 キャリアや肩書きにとらわれず、保育やその他のことについて思うことがあれば誰でも意見が出せ、皆で話し合いができるような雰囲気づくりに努めているか。	以前に比べ、意見を出しやすい雰囲気になっている。しかしキャリアを気にするなど、まだまだ限られた職員しか発言しないことが多い。今後より一層意見を出しやすい雰囲気づくりに努めたり、文章で提出できるようにするなど具体的に試みたい。
	2 行事などで忙しい時期でも気兼ねなく休暇の取得ができ、担任代行など皆で助け合えるような職場環境づくりに努めているか。	休暇を取りやすい環境・体制は整ってきている。ただ行事前などは取りにくいと感じている職員が多いので、今後配置や人数などを考慮していきたい。また、休暇を取りやすい時期に取得することも奨励していきたい。その他、終業時刻が遅くなることもあるので、意識的に仕事の効率化を図りたい。

IV. 総合評価

A：出来ている C：一部出来ていない
B：おおむね出来ている D：出来ていない

B	各教員が学校評価の主旨を理解し、評価項目に対し主体的に取り組むことができた。その結果、項目に掲げた内容について概ね達成できたと評価している。達成できなかった点については引き続き今後の課題として取り組み、達成を目指す。また、これらの項目への取り組みを今後さらに掘り下げていきたい。重点項目「ア 2」については達成できたと思われる。
---	--

令和元年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園
高田幼稚園

V. 今後取り組むべき課題

ア	1	教職員の資質向上	幼稚園教育要領を自園の保育目標に照らし合わせて考え、細部にわたり職員全体の共通理解を深め、実践につなげたい。
	2		達成できていると思われるので、今後も継続して保護者との関係を深めていきたい。
イ	1	園の保育面・運営面の向上	保育面・運営面において、各自が役割を自覚し、園の一員として主体的に関わっていききたい。
ウ	1	安全管理体制の強化	地域の防災訓練等に参加し、またハザードマップや災害時の避難経路などを共通理解できるよう取り組みたい。
	2		各クラスの「処理セット」設置場所の把握と、落ち着いた対応が取れるよう努めたい。また新規採用もあるので、今後はAED・応急処置訓練も含めた定期的な園内研修を継続的に実施したい。
エ	1	保育環境について	園の方針や仏教保育の意義が保護者に伝わるよう努めたい。また職員自らが仏教保育の意義を理解できるよう、研鑽の場を持ちたい。
オ	1	職場環境について	気兼ねなく意見を出せる雰囲気づくりに、より一層努めていきたい。
	2		休暇を取りやすい時期にまとめて取得することを奨励していきたい。また終業時刻が遅くなることがあるので、意識的に仕事の効率化を図りたい。

VI. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> 職員が安心して気持ちよく勤務できる職場環境づくりに努め、それが保育に還元されるように進めてほしい。 キャリアの有無に限らず、職員一人ひとりの意見が反映される職場体制であってほしい。 幼児教育無償化など様々に制度が変わり、転換期であることを踏まえ、ICT化等の導入により業務の効率化を図ってほしい。 救急講習やAED講習を地域と協力しながら開催するなど、様々な形で地域との交流を深めてほしい。 今後も感染症に関する知識と理解を深め、安全管理体制の強化に努めてほしい。
--

VII. 財務状況

公認会計士監査により、適正であると認められている。
